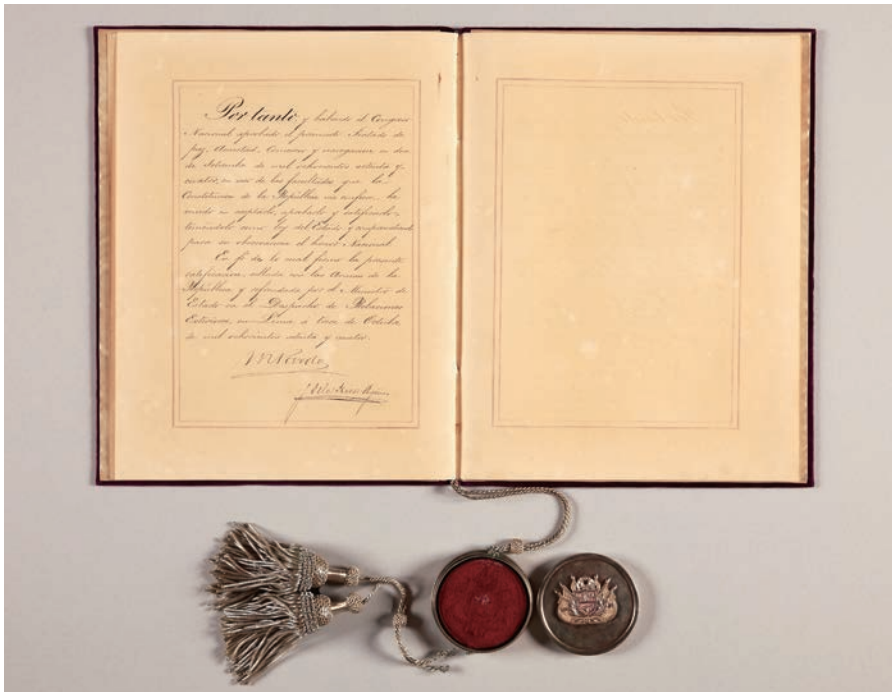


1873 (明治6) 年8月21日調印
日本国秘魯国和親貿易航海仮条約 (調印書)



1874 (明治7) 年10月13日批准
日本国秘魯国和親貿易航海仮条約 (ペル一側批准書)

日本国秘魯国和親貿易航海仮条約（調印書）

日本とペルーとの通商航海の自由を相互に認めた条約で、本条約の締結によって日本とペルーは外交関係を樹立した。日本にとって中南米諸国との初めての外交関係樹立だった。外務卿の副島種臣と特命全権公使のガルシア（Aurelio Ga. y Garcia）が東京で署名。日本語、スペイン語、英語で作成されている。当時の日本は列国と結んだ不平等条約の改正に取り組んでおり、列国との改正交渉がまとまった際にはペルーとも改めて新条約を締結することを約束したため、それまでの暫定的な条約であるという意味で「仮条約」という名称になっている。

日本国秘魯国和親貿易航海仮条約（ペルー側批准書）

和親貿易航海仮条約の批准書交換は、一八七五年五月一七日に東京で実施された。ペルー側の批准書には、パルド大統領（Manuel Pardo）の署名とアグエロ外相（José de la Riva-Agüero）の副署がある。

二〇二三（令和五）年は、日本とペルーの外交関係樹立から一五〇周年にあたる。当館ではこれを記念して、二〇二三年七月二十八日から九月二十九日まで、日本とペルーの関係を外交史料で振り返る特別展示を開催した（本誌関連記事参照）。